

ふかまのまじ

第一四号 〇三年二月一日
発行元 深町町内会連合会
連絡所 六三三八八二

町内会連合会活動報告

- 一、体育委員会(九月二七日)
市民体育大会出場選手の最終調整、及び練習日、前日準備、大会当日の役割分担等を決定。
- 二、市民体育大会の練習
十月三・四・五の三日間に亘り実施。各種目について、一応の練習ができました。
- 三、如水館のパネル掲示
全国大会に出場するロボット研究部及び秋季国体に出場する陸上部の応援パネルを十月四日に掲示しました。
- 四、市民体育大会(十月十二日)
別報のとおり。
- 五、市体育指導委員の巡回指導
十月十九日、十名の指導委員により、大人はターゲットボードゴルフ、子供は体育館でペタンの指導を受けました。



市民体育大会報告

体育部長 秋本 賢治

市民体育大会が十月十二日(日)に三原運動公園で開催されました。
深町は、出場地区皆実町に続いて五番目に入場しました。選手並びに役員一丸となって奮闘し、総合リレーなど二位でのゴールもあり、本年も全種目出場ができました。
総合順位は十八チーム中十五位(Cクラス六チーム中四位)でした。(ビーチボールパレー、グラウンドゴルフ、ターゲットボール大会を含む)
残念ながらBクラス復帰は成りませんでした。来年度に向けて奮起したいと思えます。
町民大勢の皆様のご支援、ご協力を頂き参加出来ましたこと、厚くお礼を申し上げます。
有り難うございました。

追記 参加予定
ターゲットボードゴルフ大会
開催月日 十一月十六日
時間 開会 九時
場所 三原運動公園 ▲

子ども会だより

キックベースボールに
かける想い
監督 畑中資史

町内の皆様には、平素より女子キックベースボール活動にご理解とご協力を戴き誠に有り難うございます。
私は去年キックベースボールのコーチを始め、今年より監督をしています。



まず一年間の目標を今まで出来なかった公式戦の初勝利と決めて、子供達と練習を始めました。
ところが子供達は、春の大会で逆転サヨナラ勝ちで初勝利。次に三菱重工ゆわ会球技大会では、快進撃で参加十四チーム中第三位になり、最終戦の市子連球技大会ではベスト八。

「なぜ? どうして?」と思われる方は、子供達の真黒に日焼けした顔を見れば「なるほど!」と納得出来ると思えます。
今年の子供達は、土曜日、日曜日、毎週全員が参加し、誰一人として欠ける事なく、逆に二年生二名、六年生二名が加入しました。これで六年生の女の子は全員キックベースボールに入った事になります。私の子供も六年生の中の一です。今頃になって、六年生が、と思われるかもしれませんが、子供達にも色々な事情があるのでしよう。
最後の試合で、六年生六人が全員真赤なキックのユニホームを着て、一緒にグラウンドに立っている姿を見る事が出来て嬉しく思っています。

私は、六年生から一年生まで、女の子はキックベースボールへ、男の子はソフトボールに全員入って、長い様で短い小学校生活で、太陽の様に元気で明るく大きな和が出来る事を願っています。
最後に、コーチの迫さん、岩野さん南さん又子供達を支えて応援して下さいました保護者の方に大変感謝しております。ありがとうございます。

尚寿会だより

尚寿会会長 幸谷 満夫

- 一、秋季旅行(九月二十五日)
岡山県矢掛町のおどう狩りと岡山健康ランドで入浴・会食を楽しましました。参加二十人
- 二、市老連見学旅行
九月二十六日、山口県仙崎の金子みすず記念館と角島方面を訪れました。一人参加。
- 三、信金ゲートボール大会
十月八日、和田沖グラウンドで開催され、深チームは一・二回戦を勝ち上がり、三回戦へ進出しましたが中之町チームに敗れました。
- 四、市老連スポーツ大会
(十月二二日)
市内一三〇の老人クラブが地区別に五チームに分かれて競技しました。深町から七種目に五人が出場しました。
- 五、神社清掃奉仕(十月十一日)
神社役員要請により、神社境内の奉仕作業を行い、十三人が参加しました。



深小だより

給食調理員 中広 千秋

木原小学校から転勤して早、半年が過ぎました。
「ごちそうさまでした。」
「おいしかったよ。」の声にはげまされて毎日がんばっています。これからも安全でおいしい給食作りに努力していきます。
よろしくお願いします。

給食レシピ

白米	70g	(作り方)
鶏肉	10	1) 鶏は普通に炊く。
人参	7	2) 具は大きさをそろえて準備する。
しめじ	10	3) 油を熱し、鶏肉・人参を炒め、きのこ・ごなん・くり・枝豆を加え、調味料を煮る。
舞茸	10	4) 炊き立てのご飯に具を混ぜ合わせる。
ごなん	5	
くり	15	
枝豆	5	
油・しょうゆ	0.3/3.5	
酒・塩・みりん	1/1/2	

吹き寄せご飯

謹んでお悔やみ申し上げます

西永保子様 七七才 清国講
十月十五日
薦三枝様 八六才 田屋講
十月二三日

深町各種団体十一月行事予定

- ◆町内会連合会
市主催 ターゲットボードゴルフ大会参加 十六日
- ◆小学校・幼稚園
地域参観日 四日
PTA役員会 五日
TEAMタイム 七日
貯金日 十日
びよびよハウス 十一日
英語活動 十二日
ライオン号来校 十八日
お楽しみ会(いも汁) 二十八日
- ◆女性会
鵜親会 上 第三水曜
下 第一月曜
第二日曜



展望席

食欲の秋、芸術の秋、いつの間にか「秋ふかし、隣は何をする人ぞ」の季節になりました。ふと気が付いてみると、快調に食欲を満たしたため体重が増えているのが気が掛ります。あわててダイエットをしないで、おられる方もおられるでしょう。晩秋の感傷に浸っているわけにはいかなくなりません。

「腹八分目医者いらず」といながら、あとの二分を菓子、饅頭などの間食で、ちゃんと埋め合わせておられる人(ウチのカミさん)もいます。そうなる元の本阿弥、いつの日にか、肥満や、糖尿病、高血圧症などの生活習慣病が心配になります。「病は口から入って、災いは口から出て行く」と言います。口数が多いのに言葉足らず。能弁な政治家になんと失言(言葉が足りなかったと釈明)の多いことか。うっかりすると、天から唾がわが身に降りかかってきます。「もの言えばくちびる寒し秋の風」とか、口は厳に慎むものようです。

とはいっても、もの言わぬは腹ふくるところとなり、はなはだ苦しいものです。食欲の無いのも心配です。

やはり、体の中にたまったものはパッと明るく思い切り吐き出して気分もスッキリ、代りに新鮮な空気と英知をいっぱい吸い込み、明るく楽しく会話、食事は美味しく適度にいただき、食事を明日への糧にできたいいなと思っています。

深小時代の思い出(最終回)

元深小学校長 坂井吉徳

現代はスピード化の時代であり、何もかも速さを求めて世の中は動いていきます。深町の田植えも、昔は梅雨に入ると始めていたのに、近頃は四月に田植えが始まっています。私は月に一回、広島市民病院へ治療を受けに出かけています。が、ややもすると新幹線に乗ったりしてしまいます。何も急ぐことはいらないのに、町の若者たちも急がしように歩きながら、また自動車を運転しながら、携帯電話でおしゃべりをしていきます。見ている方がイライラするの、年を老いたためかなあ、と、つくづく感じています。もともとゆつくりと考える時はあつても、良いのではないのでしょうか。二〇〇二年十月一日の「ふかまのまど」を読ませてもらいました。「深小だより」の欄に、稲刈りをしました、というお便りが載っていました。平成二年私が再度赴任した時は、もう稲刈りは始まっていましたから、もう十数年も続いていることになり、とてもなつかしいだけだ、と考えさせられました。深町は農村地帯に入る要素が残っていますが、「田んぼ」があつても「田植え」を知らない稲づくりがどんなに大変な仕事なのかを知らないで大きくなつていく子どもが多いと思うのです。深小だからできる体験を通して、農作業の大切さ、大変さ、今日の田んぼは、おじいちゃん

千川神社よりお礼

千川神社総代 西本一二三



深町千川神社秋の大祭に対し、町内各戸に御寄付をお願いし、御出宝頂きありがとうございます。役員一同厚くお礼申し上げます。今年は天候に恵まれ、太夫も来られて式典もできた事、地元から小学校六年生と壮青会の皆さんの太鼓踊奉納、子ども会より出店もして頂き祭りを盛り上げてもらった事もあり、参拝客も約三〇〇名が来られ、盛大に祭りが出来ました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

おばあちゃんが残してきてたものであり、そのおじいちゃんおばあちゃんのお気持にもふれることが、今問われているように思います。昭和三十年頃の話ですが、学校は「農繁期休み」という一週間のお休みがありました。三原小では授業をしていても深町の子どもは、稲刈りの手伝いをしていました。小さな子どもがいる家では、高学年が中心になって、子守り役をしていました。



こんな生活の中で、子どもは稲作りを学んだと思います。今、大切なことは、このような「ゆとり」ではないでしょうか。ゆとりと言え、昭和三十年から三十五年までの四年半の間、深小学校では、教職員と市役所支所の人、農協の人が一緒になつて学校でテニス大会をしていました。参加者の中でチームを作り、四時頃から一時間半ばかりの間楽しんでいました。三中に転勤すると、一、二三年と総務の先生の四チームに分れて、テニスの初日には、必ずソフボール大会が行われていました。学校の先生方にも、昔のよう「ゆとり」の時間が、今必要なのではないでしょうか。

十一回にわたりまして私の「深小時代の思い出」を、ご精読いただき感謝しております。深町のさらなる発展を心より祈りながら筆を擱(オ)きます。▲▲▲

迷惑ハガキに注意

中之町警察官駐在所

最近、インターネットのサイトの利用料金などを名目に債務があるかのように見せかけ、銀行口座に現金を振り込ませようとするハガキが届いたという話をよく耳にします。



通常、郵便による債務の督促は、内容証明郵便によって行われます。他人の目に触れるハガキ一枚による債務の督促などは、考えられません。憶えのない、いわれのない債務に対する督促に、万が一、相手が自宅に現れるようなことがあれば、直ぐに、一〇番してください。

随筆 高所恐怖症

中之町 河野 強

今年の秋は珍しく日和つづきのお天気。気象庁でも余り例がなく、今までは殆ど短い周期で天気が変わるのが通例だ。そうだと日和つづきで乾燥がひどく、野菜物は水を欲しがり、なえだした。



ところが先日、一天俄かにかき曇り、驟雨(シユウウ)にわか雨)が来た。「恵みの雨だ、これで畑物がいきをする。これぞまさに金の雨というものだ」と

短歌・俳句・詩

☆ 孫に行き三句 中組 竹内 博満

孫の宿つくづく法師の声聞きて 長月初めの由布院着く 十三夜月と火星の同居する 宇宙眺める由布院の宿 由布岳の麓に白き佛燈や 心地よきもの露天風呂かな

☆ 中組 高崎 壽郎

親ぬ時は速く歩むかカタツムリ 赤トンボお空を染めたはいつの日か 城ん子の行列踏まぬ紙となり

私の地球サミット(7)

中組 安藤 志保



サミット会場では、私は主に出席ブースの担当で、私たちが世界に向けて呼び掛けている『地球市民国連』の説明、私たちの活動の紹介、サイドイベントへのお誘いをしました。現在、世界中で、たくさんの方々が深刻な問題がありますが、それらを解決するためには、大きな力が必要だったり、広範囲、または地球規模で、取り組む必要があつたりします。それぞれが国や地域で抱えている様々な問題を解決するために、みんながつながって、いこう、というのが『地球市民国連』地球規模の市民ネットワークです。

喜んでいたら、なんと納屋の二階の大屋根の樋から、水がぱたぱた落ちだした。見る見る滝のようになり落ちるからすごい。やむなく雨が止むのを待つ。雨が止み、早速息子と二連梯子を上屋根へ掛けた。案外重たい梯子だ。息子に「登って直しておい」と言ったが、「うん」と言わない。そして、「わしや高所恐怖症じゃけー駄目じゃー。この間よそへ

手伝いに行つた時、梯子に登っても体が震えて仕事にならず、よその小父さんに替わつて貰つた。高い所は駄目じゃ。(あんたあ、そがあに上へようあがらん者が、よう子どもを拵(コシラ)えたのー)と言つて笑われたいけえ、(あれは低いけー怖くなあー)言つてにが笑いしといいた」と息子は言う。

「困つた者よのー、屋根瓦が割れて雨漏りしだしたらどうするんや」と言いながら、高年齢がしかたなく私が登ることにした。屋根が高いので、二連梯子をいっばいに伸ばすと長さは八メートルになる。息子は「気を付けんさいよ」と言うだけ。上へ登るほど、ふわふわ揺れ気持が悪い。しつかり梯子を持つとれよ!!」と私は大声をだして意気込む。

かつて若い頃は、建前の手伝いに行つて高い所へ上がつても私は別段高いところが怖いと思つたことはなかつたが、歳には勝てんか。(やつぱり怖い気がするな)と思いつつ、梯子に詰まつた木の枯葉を取り除き、一段一段ゆつくり降りたが、どうしても体が固くなつた。あれ以来、息子にも高いところへの仕事は頼まないし、やらせないことにした。それにしても、若いのに高所恐怖症とは困つたものだ。まあ、先のこととは先のことと諦めの気持ちになつた。

この説明をしていて、「If we unite...」(私達がつながれば...)と言つと、目を輝かせて、「We can do anything!」(私達は何でもできる!)と抱きついて喜んでくれた南アフリカのNGOの女性。サイドイベントの後、「地球市民国連」の賛同者になつてうれしそうに「Keep in touch!」(連絡を取り合おう!)と何度も言いながら帰つていったフィリピンのNGOの人たち。その顔が今でも浮かんできます。希望を伝えられたこと、このことが私自身のためにも新たな希望になりました。

びっくりにびっくりに大仏様

小川 夏歩

わたしは、二日間の修学旅行で、たくさんのお話を聞きました。大仏殿の屋根の上の金のしびです。この金のしびの幅は、みんなが歩いた通路の長さといつしよということ。遠くに見えるしびとしびの間（大仏殿の横幅）がそんなに広いとは思いませんでした。次におどろいたのは、大仏様の大きいです。教科書やテレビでみるよりやっぱ本物が一番だなあ。と思いました。でも、大仏様の鼻のあなは私の想像していたより小さかったです。大仏様の鼻のあなは、すごく大きいと聞いていたので、私は、学校のつくえくらいだと思っていました。ちよつと残念でした。ぜひ、みなさんも本物の大仏様を見に行ってみてください。



感動した東大寺

迫 菜津美

「大きいね。すごいね。」と言う友達の話で上を見上げました。そこには、わたしの何十倍もある大仏様がすわっていました。教科書で見ると立体的感がありました。ガイドさんから大仏様の右に旋回して螺状をしたもの（が耳から四番目のところが落ちていて）や大仏様がすわっている台には、たくさんのお仏様の絵がかかれています。大仏様の手のひらは、大人十人が乗れるほど大きいそうです。わたしの手のひらと合わせてみると思いました。でもやっぱこの東大寺の見学が一番印象に残っているのは、大仏様の鼻を通ったことです。わたしの鼻は、五番目くらいでした。胸がどきどきしているうちに、わたしの鼻が来ました。腰が少しはまりました。こわくなり、しんけん顔になりました。でも、体をななめにすると入れませんでした。先生が外でカメラをかまえて待っていました。わたしは、しんけん顔から笑顔に変わりました。外に出てまだどきどきしていました。

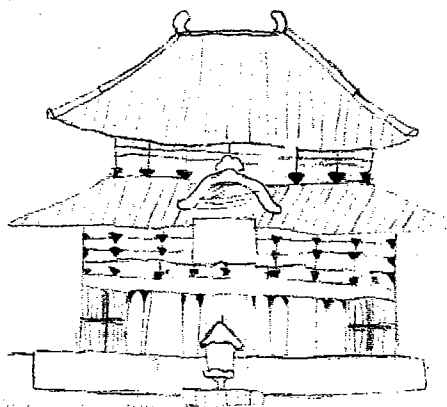


心に残ったこと

馬越 翔大

「やつと着いたあ。」と言いながらバスを降りました。「早く自由行動がしたいなあ。」と思いながら先生たちの話を聞きました。なぜなら、ぼくが修学旅行で一番楽しみにしていたユニバーサルに着いたからです。やつと自由行動です。昼の長い所から行きなりました。最初にジュラシックパークに行きました。待っている間マップを見ながら、次にどこへ行くか相談しました。次に、ジョーズやE.T.アドベンチャーやターミネーターやバックドラフトなどのアトラクションに行きました。みんなですてた計画通り回れたので満足でした。おみやげも買ったのでよかったです。

東大寺 大仏殿



ユニバーサルでの体験

河原 光

ぼくは、初めてユニバーサルに行きました。何日も前から楽しみにしていました。グループで計画を立てて、回る順番を考えたりしていました。最初に、バックドラフトを見に行きました。工場のような所が燃えていました。これは、火のこわさを感じさせてくれるアトラクションです。工場が火事になったら爆発したりして大変なことになると分りました。どんどん回りました。ぼくたちは三人グループです。途中、休けいもせず回ったので五つのアトラクションに行くことができませんでした。暑かったのでお茶を飲みながら行きました。次に、おもしろかったのが、バックドラフトやヒューチャーです。ここでは、車に乗って映像の中へ入って行きます。車の振動と映像の動きで、本当に動いているように感じました。過去と未来体験ができ、すごく楽しかったです。



二日目は、東大寺に行きました。東大寺に入る前に南大門がありました。そこに立っている仁王像はぼくが想像していた以上に大きかったです。仁王像を見て「大仏はこれよりでかいんだなあ。」と思いました。大仏をばつと見上げるとすぐでかかったです。みんなで遊んだり、勉強したりするのはいつもとちがう感じでした。楽しかったです。

岩野 志穂

初めての修学旅行

やつと大阪に着きました。一日目は、大阪にあるユニバーサルスタジオジャパンに行きました。一番よかったアトラクションはE.T.です。入り口で自分の名前を言うのと一番最後にE.T.が出てきて自分の名前を言うのです。このアトラク

深小学校6年生

修学旅行の思い出



大きかった大仏

渡部 弘

大仏殿に着きました。入口には線香が置いてあり、ガイドさんが、この線香のけむりを頭に三回かけると、頭がよくなるよ。と教えてくれたので、みんないっせいにしてみました。でも四回すると効果がなくなるそうでした。みんな必死でやっていたのがおもしろかったです。いよいよ東大寺の中に入りました。東大寺の中に入ったら大仏は想像したよりもずっとでかかったです。びっくりにしました。近くに行けば行くほど、大きくなりました。歩いて行くと穴のあいた柱がありました。ガイドさんが、「この柱の穴は、大仏さんの鼻の穴と同じ大きさです。この



ションは、自転車に乗り、上空を飛び乗り物です。空を飛んでいるようにした。E.T.の仲間たちがたくさんいました。E.T.の子供もたくさんいました。空を飛んでいるように本気に気持ちよかったです。二日目は、東大寺と清水寺と金閣寺に行きました。その中で一番心に残ったのは、東大寺です。大仏殿に入るといきなり大きな大仏がいました。想像以上に大きかったです。大仏の鼻の大きさに形どっている木の穴を通りました。思ったより小さく見えたので入れるかなと心配になりました。ガイドさんが、「ななめに入るといいよ。」と言ったのでななめに入るとすうと入れました。うれしかったです。大仏さんの鼻の穴は人が入れるくらい大きかったです。大仏様を見てもよかったです。前で大仏を見てみたかったのが本物の大仏が見れてよかったです。

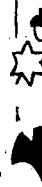


ユニバーサルと東大寺

村上 緩聡

ぼくが修学旅行で一番心に残った所はユニバーサルのジュラシックパークです。このアトラクションは、ボートに乗って行く途中に恐りゆうがあべだして人を食べていきます。最後には、二十七メートルの高さに登った所です。下に落ちて、すごい水しぶきがかかるのです。とても迫力があっておもしろかったです。もしユニバーサルスタジオに行くことがあったら、ぜひこれに乗ってみたいと思います。

次によかったのが東大寺です。最初に南大門に行きました。そこには、こわい顔をした仁王像が立っていました。ぼくは、「でかいなあ。」と思いました。ついに、大仏殿です。見上げるとそこには、約十五メートルもある大仏様がすわっていました。その大きさは、本当におどろきました。大仏様の鼻のあなを通る時は、みんなきん張っていました。ぼくも通れるかなあとドキドキしました。あつという間にぼくの鼻が来ました。通れた時、ぼくは思わず、「やつたあ」と心の中でさけびました。



と、言いました。ぼくが最初に通りました。そして、みんな通りました。「無事に通れるかな。」そんなことを考えていると、ちよつと腰が引つかかりました。両手を伸ばして、腰をななめにぬけることができました。ぼくはホッとしてました。想像以上に大きかった大仏様にぼくは本当におどろきました。

